

令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

【事業の趣旨】

重要文化財多久聖廟及びその周辺地域は、藩政時代多久領の中心として多くの史跡や文化財があり、緑豊かな恵まれた自然と古い町並みの景観は、一帯が歴史公園としての佇まいを呈し、文教の地「丹邱の里」として語り継がれている。

これら、自然的、歴史的、文化的佇まいの保存整備と調和のとれた開発並びに芸術文化の普及振興により、快適な地域の生活環境を醸成するとともに、この地を広く内外に紹介していくことにより、訪れる多くの人々が「心の豊かさ」を享受し、また、広域的な交流も図ることができる。

本法人では、多久の領主であった多久茂文が取り組んだ「文教の里づくり」を目指し、伝統芸能・文化の伝承、学芸文化の研鑽振興、児童・青少年の健全な育成、現地研修を重点的に事業として行っている。

この「文教の里づくり」を推進することにより、地域の文化及び芸術の振興を図り、もって地域の活力ある発展に寄与する。

【事業の体系】

1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業

- (1) 積菜事業
- (2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業
- (3) スクール（寿）コンサート事業
- (4) 中国の旅事業

2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業

- (1) 孔子の里ジュニアガイド事業
- (2) 生活体験学習（通学合宿）事業

3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業

- (1) 多久聖廟の維持管理事業
- (2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸能の紹介の展示事業

(3) 東原庫舎の研修目的での利用に対する貸与事業

4 図書製作販売事業

5 新年のつどい開催事業

6 各種教室・講座開催事業

7 法人運営・管理事業

【事業の実績】

1 重要文化財等の地域特性を活かして文化及び芸術の振興を図る事業

(1) 積菜事業

積菜は、多久聖廟創建（1708年）以来、313年の歴史があり、春（4月18日）、秋（10月第4日曜日）の年2回開催している。1980年には県の重要無形民俗文化財に指定されている。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、春、秋の積菜を略祭という形式で執り行った。

このような佐賀県重要無形民俗文化財に指定されている歴史的伝統文化を適切に保存し、次世代への的確に引き継ぐとともに、市民の参加を促し、地域文化として形成を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 実施時期：春（4月18日）、秋（10月25日）の年二回開催

イ 事業の対象者：一般住民（参拝者：春約60人、秋約200人）

ウ 周知方法：ホームページ、フェイスブック、市報、新聞、チラシ等を活用して、周知した。

(2) 全国ふるさと漢詩コンテスト事業

全国より漢詩を募集してコンテストを開催し、伝統文化を活かした文化及び芸術の振興を図り、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 募集（周知）方法

儒学と文化の里づくりとして、漢詩を全国から募集するとともに、市報、新聞、ホームページ、ガイド誌等を活用して、周知した。

イ 審査方法

審査は公平を期すよう氏名などを伏せた作品を送付し、審査員の方々に審査していただいた。

ウ 審査員：石川忠久先生（学校法人二松学舎顧問・公益財団法人斯文会名誉副会長、専門は古典中国文学）、佐藤保先生（お茶の水女子大学名誉教授、専門は中国古典詩研究）、鷲野正明先生（国士館大学文学部教授）

エ 表彰方法

1 1月29日に東原庁舎において、公益財団法人斯文会理事長宇野茂彦氏に公開講座をしていただいた。

最優秀賞作品は、石碑に作品を書いた陶板を埋め込み、多久聖廟展示館周辺に設置した。

最優秀賞	新春有感 (しんしゅんかんあり)	たかやま かずお 高山 一雄	山梨県都留市
優秀賞	懐梅花 (ばいかにおもう)	そえじま ようこ 副島 陽子	佐賀県佐賀市
優秀賞	夏日江畔 (かじつこうはん)	たかはし じゅんこ 高橋 純子	東京都杉並区
入選賞	旅夜聞絡緯 (りょやらくいをきく)	たぬま ひろき 田沼 裕樹	千葉県松戸市
入選賞	農事偶成 (のうじぐうせい)	すが いきお 菅 勲	大分県大分市
入選賞	秋晩賦詩 (しゅうばんしをふす)	こじま あきこ 小嶋 明紀子	神奈川県藤沢市
奨励賞	令和庚子豪雨 (れいわこうしごうう)	たけだ こういち 武田 耕一	佐賀県多久市

オ 応募実績：海外及び全国より289点の応募（応募者194名）

(3) スクール（寿）コンサート事業

多久市在住の趙勇（揚琴演奏家）氏の高いレベルの揚琴を鑑賞し、高齢者や子供達の芸術文化への理解と参加の機運を高め、豊かな情操の育成と健全な人格の形成を図るとともに、中国との異文化の理解と交流を深めることにより、不特定かつ多数の利益の増進に寄与した。

ア 開催場所等

(ア) スクールコンサート：市内義務教育学校3校（参加者：全校児童・生徒、教師、保護者）

学 校 名	開 催 日	参加者数(合計)
東部校	2月4日(2回)	78人
西溪校	11月24日(2回)	55人
中央校	11月17日	100人

(イ) 寿コンサート

開催場所	開 催 日	参加者	参加者数
自由ヶ丘公民館	11月21日	悠々クラブ	50人
北多久公民館	1月12日	北多久町老人クラブ	30人

(4) 中国の旅事業

多久聖廟は、孔子様を祀っており、長年、孔子直系子孫の方々と多久市民は積極的に交流をもっている。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大、また、ご参加いただく皆様の安全を考慮し、中止した。

2 地域活動への参加、体験を通じて、児童及び青少年の健全な育成を図る事業

(1) 孔子の里ジュニアガイド事業

児童や青少年の健全な育成のためには、地域活動への参加や様々な体験を通じて、自立と交流を促すことが必要であることから、児童や青少年の参加や体験を促す事業を一体的に展開し、その健全な育成を図った。

ア 対象児童：義務教育学校3・4・5・6年生

イ 募集方法：毎年6月に対象者全員（622人）に案内チラシを配布し、周知した。

ウ 実施時期：毎月第2・第4土曜日の午前中

エ 実施内容

(ア) ジュニアガイドとしての指導、育成、郷土文化の伝承

ジュニアガイドに申し込んだ児童を対象に、地域の歴史文化やガイドとしての心構えなどについて、60分8回の講義を行い、ジュニアガイドとして育成した。

(イ) ガイドの受付、スケジュール管理

観光客等からのジュニアガイドの依頼を受付けるとともに、ジュニアガイドのスケジュールを管理した。

(ウ) 孔子の里観光ボランティアガイドの同伴

ジュニアガイドの実施日には、孔子の里観光ボランティアガイドが同伴し、ガイドに対するアドバイス等を行い、説明が適切に行われるようにサポートしていただいた。

(エ) 他団体との交流

現地研修などを計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、子供達の安全を考慮し中止した。

オ 育成実績：25人

(2) 生活体験学習（通学合宿）事業

子供達の自立を阻害し、無気力な状態に追い込んでいる大きな原因の一つには、年齢相応に自ら体験すべきことを体験していない、体験の乏しさにあると考えられている。当事業は、年齢の異なる子供達と一緒に生活をしながら様々な体験を通して、我慢する心、譲りあう心、思いやりの心を学ぶ場として実施している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、日帰りの通学合宿を計画したが、参加を希望する児童が開催に必要な人数に満たなかった為中止した。

3 重要文化財多久聖廟及び関連施設の一体的保全と管理に関する事業

(1) 多久聖廟の維持管理事業

多久聖廟及びその周辺に存在する2施設の一体的保全、管理を行った。

重要文化財「多久聖廟」と聖廟等に関する資料等を公開する「多久聖廟展示館」、社会教育施設・宿泊研修施設「東原庠舎」の3施設を一体的に管理、運営することにより、聖廟を見学し、展示館で枳菜などの伝統文化に触れ、東原庠舎で講義研修を受講することができるなど一連の流れの中で学習することができる。

これらにより、多久聖廟に関わる地域の伝統や文化を総合的に学ぶことができるなど、「文教の里」として、当地域の伝統や文化を横断的かつ一体的に体験し、学習する機会を創出することに繋がり、文化・芸術の振興・発展や地域の活力ある発展に寄与した。

(2) 多久聖廟に係る調査研究及び多久聖廟展示館を用いた文化遺産及び伝統芸能の紹介の展示事業

多久聖廟は313年の歴史を持ち、春と秋に枳菜を開催している。多久聖廟展示館では、多久聖廟の歴史及び多久の偉人の紹介や伝統・文化を紹介している。映像ライブラリーを設置し、訪れた観光客に対して多久聖廟や枳菜の詳細を、映像を通じて発信した。

また、現在の多久の魅力を知ってもらうため、多久百景写真コンテストを開催し、その作品を展示することで地域の活力ある発展に寄与した。

ア 孔子、四配に関する調査研究、資料等の展示

多久聖廟に祀られている孔子像及び四配に関する過去の調査資料を展示するとともに多久聖廟周辺で発掘された文化遺産を展示した。

イ 枳菜に関する資料、衣装等の展示

枳菜で行われる伝統芸能の資料や衣装を展示した。

ウ 多久聖廟展示館の維持管理

多久聖廟に隣接する聖廟展示館の維持管理を業務として、防犯、警備、防火対策や周辺の清掃及び通路の整備等を行った。

エ 多久百景写真コンテストの開催

多久市の四季・伝統文化・歴史を紹介するために多久百景写真コンテストを開催し、受賞作品を多久聖廟展示館に展示することで、多久市の魅力を来館者へ紹介した。

(ア) 表彰式の実施日：10月29日

(イ) 表彰式の実施場所：多久聖廟前

(ウ) 応募実績：127点の応募（応募者49名）

(3) 東原庠舎の研修目的での利用に対する貸与事業

社会教育施設・宿泊研修施設としての東原庠舎の維持管理及び施設を活用した文化の伝承・発展に寄与する貸与事業を行い、学芸文化等の研鑽振興を図った。

ア 貸与実績：利用件数172件 利用人員延べ1,508名（宿泊38名・日帰り1,470名）

4 図書製作販売事業

論語カルタの販売では、平成25年度より導入したAmazonの通信販売は、全国各地からメディア等を通じて論語カルタを知り、注文を受けることができる窓口となっている。

また、ふるさと応援寄附金の特典品、多久市観光協会の通信販売サイトふるさとTAKU配便による販売も去年同様に注文を受けている。

今後も多久市観光協会や一般社団法人たく21と連携を行い、孔子廟に関する書籍や論語カルタ等を製作、販売することにより、多久聖廟、東原庠舎の歴史及び孔子の教えを広く一般に周知する。

(1) 販売場所：東原庠舎、多久市物産館朋来庵、通信販売サイトふるさとTAKU配便、多久市まちづくり交流センターあいぱれっと、通信販売サイトAmazon.com

(2) 出版物概要：百人一首式論語カルタ（絵入・文字）、論語いろはカルタ
論語日めくりこよみ、論語解説書、日本・中国・朝鮮の孔子廟、多久の詩情・多
久聖廟を歩く

(3) 販売実績：698,369円

5 新年のつどい開催事業

例年、多久市内会場にて多久市商工会及びJAさかの共催で開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度は会場での会食形式を中止し、紙面による名刺交換会とした。

- (1) 対象：一般住民、市内、市外の企業等
- (2) 募集方法：チラシ、ホームページ等を活用して周知。
- (3) 参加者：130名

6 各種教室・講座開催事業

次の各種教室、講座を開催し、住民の教養の向上と健康の増進、相互の親睦を図った。

(1) 市民大学運営事業

- ア 内容：中国古典の扉(旧論語教室)等17講座
- イ 開催場所：東原庁舎や中央公民館など多久市内の施設
- ウ 開催期間：6月～翌年3月
- エ 参加人数：延べ969名

(2) ヨーガ教室

毎月第2・3・4木曜日及び土曜日、東原庁舎にて開催、参加者延べ270名

(3) 絵手紙似顔絵教室

毎月第2土曜、東原庁舎にて開催、参加者延べ35名

(4) 太極拳教室

毎週金曜日、東原庁舎にて開催、参加者延べ134名

7 法人運営・管理事業

(1) 理事会開催状況

ア 令和2年5月12日

報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について

決議事項

第1号議案 令和元年度公益財団法人孔子の里事業報告の承認について

第2号議案 令和元年度公益財団法人孔子の里決算報告の承認について

第3号議案 令和2年度公益財団法人孔子の里定時評議員会の招集について

イ 令和3年3月3日

報告事項

理事長及び常務理事の職務執行状況について

決議事項

第4号議案 令和2年度収支補正予算（第1号）について

第5号議案 事務局職員給与等規程の改正について

第6号議案 資産取得資金取扱規程の制定について

第7号議案 資産取得資金積立計画書の承認について

第8号議案 令和3年度事業計画について

第9号議案 令和3年度収支予算について

第10号議案 令和2年度第1回臨時評議員会の招集について

(2) 評議員会開催状況

ア 令和2年5月27日

報告事項

令和元年度公益財団法人孔子の里事業報告について

決議事項

第1号議案 令和元年度公益財団法人孔子の里決算報告の承認について

第2号議案 理事の任期満了に伴う選任について

イ 令和3年3月18日

報告事項

令和2年度収支補正予算（第1号）について

資産取得資金取扱規程について

資産取得資金積立計画書について

令和3年度事業計画について

令和3年度収支予算書について

(3) 財団創立30周年記念事業

本財団の創立30周年を記念し、記念事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、財団創立30周年記念誌等の作成のみ実施し、功労者の表彰及び配布は延期とした。

(4) 広報誌「鶴山書院報」発行

公益財団法人孔子の里の事業及び多久の歴史について紹介し、賛助会員等へ配布を行った。

第7号 令和2年4月1日発行 2,000部

第8号 令和2年10月1日発行 1,000部